

2012 年 9 月 18 日

### 企業会計基準委員会と米国財務会計基準審議会の代表者による定期会合の開催

企業会計基準委員会  
米国財務会計基準審議会

企業会計基準委員会（ASBJ）と米国財務会計基準審議会（FASB）の代表者は、2012年9月13日と14日に、東京で会合を開催いたしました。この会合は、ASBJとFASBが年に2回、定期的に行っているもので、今回で第13回目となりました。

FASB は、国際会計基準審議会（IASB）とともに、米国会計基準と国際財務報告基準（IFRS）の改善及びコンバージェンスに向けて積極的に共同会議を開催しています。

ASBJ は、上記の高品質なグローバル会計基準の開発を目指す FASB と IASB の取組みを支持するとともに、FASB と IASB による継続的な基準開発に積極的に関与しております。

本会議において、ASBJ と FASB は、お互いの活動の最新状況を確認するとともに、各国会計基準設定主体等の関係者間の継続的な協調関係のあり方について意見交換しました。

ASBJ と FASB はまた、FASB と IASB が現在審議を行っている以下のプロジェクトの状況について議論いたしました。

- 金融商品：分類及び測定（FASB と IASB の直近の暫定的な決定等）
- 金融商品：減損（FASB と IASB の直近の暫定的な決定等）
- 収益認識（再審議の状況等）
- リース（2012 年第 4 四半期に公表予定の再公開草案に向けた検討状況等）

さらに ASBJ と FASB は、FASB が公表した意見募集「開示フレームワーク」及びいくつかのリサーチ・テーマについて議論いたしました。

ASBJ と FASB は、引き続き、直面する課題や今後想定される懸案事項について意見交換していくことといたしました。

西川郁生ASBJ委員長は次のように述べています。

「日米両国において会計基準を取り巻く状況が変化している中で、グローバルな会計基準の開発に関連する両国共通の関心事について、FASBの代表者達と有意義な議論ができた。我々はこれからも、FASBと本定期協議等での建設的な意見交換を行うことで、引き続き会計基準の国際的進展に貢献していきたいと考えている。」

レスリー・サイドマンFASB議長は次のように述べています。

「我々は、財務報告に関する情報共有のためにASBJと引き続き連携していくことを期待している。長年にわたり、FASBとASBJは、技術的な観点や互いの国における企業、監査人及びその他の市場関係者の意見を共有するために、定期的に会合を開催してきた。FASBとASBJは共に、会計基準設定主体国際フォーラム（IFASS）の積極的な参加者であり、IFASS会議が問題に取り組むのに適切で有益な場であると両者が考えていると確信している。我々はIASBが、他の分野における基準開発を進める上で、各国又は各地域の有力な会計基準設定主体による進展を活用し得るものと考えている。」

なお、次回の会合は2013年上期にノーウオークで開催する予定です。

#### 企業会計基準委員会（ASBJ）について

ASBJは、2001年7月に民間部門の機関として設立された。ASBJが開発した会計基準は、金融庁により一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなる。ASBJは、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発している。ASBJは、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献している。ASBJに関する詳細な情報は、ホームページ<http://www.asb.or.jp/>をご参照いただきたい。

#### 米国財務会計基準審議会（FASB）について

FASBは、1973年以来財務会計及び財務報告基準を設定するための民間部門の機関として指定されている。それらの基準は、財務報告書の作成を規定し、証券取引委員会及び米国公認会計士協会により権威のあるものとして正式に認識されている。投資家、債権者、監査人及びその他の人々は、信頼性、透明性、比較可能性のある財務情報を必要とするため、このような基準は、経済の効率的機能にとって不可欠である。FASBに関する詳細な情報は、ホームページ[www.fasb.org](http://www.fasb.org)をご参照いただきたい。